

Tsuyama College		Year	2021	Course Title	World History
Course Information					
Course Code	0006		Course Category	General / Compulsory	
Class Format	Lecture		Credits	School Credit: 2	
Department	Department of Integrated Science and Technology Communication and Informations System Program		Student Grade	1st	
Term	Year-round		Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials	教科書：『世界史B』実教出版、『最新世界史図説タペストリー』帝国書院				
Instructor	KADOYA Hidenori				
Course Objectives					
学習目的：通史の概説講義を受けたのち、主体的に歴史学上の課題に取り組むことによって、歴史的な思考を展開する訓練をおこなう（経験する）ことが目的である。					
到達目標 ・人文・社会科学的な視点から人間、社会、文化について多面的に理解し、国際社会の一員として社会的諸問題の解決に向けて主体的に貢献する自覚と素養を培う意識をもつこと。 ・人間活動や科学技術の役割と影響に関心を持ち、幸福とは何かを追究しながら、技術者として社会に貢献する自覚と素養を培う意識をもつこと。 ・日本を含む世界の様々な生活文化、民族・宗教などの文化的諸事象について、歴史的観点から理解できる必要性を理解すること。					
Rubric					
	優	良	可	不可	
評価項目1	十分に授業に参加すること	2/3以上の授業に参加すること	2/3以上の授業に参加すること	10回をこえて欠席すること	
評価項目2	指示に十分に合ったレポートを提出すること	指示にある程度合ったレポートを提出すること	最低限の指示に合ったレポートを提出すること	指示に合ったレポートを提出しないこと	
評価項目3	なし	なし	なし	なし	
Assigned Department Objectives					
Teaching Method					
Outline	<p>一般・専門の別：一般 学習の分野：一般 人文・社会 基礎となる学問分野：史学・歴史社会学 学習教育目標との関連：本科目は学習教育目標「④教養豊かな実践的人間力の養成」、「⑤グローバルな視点と社会性の養成」、「⑦コミュニケーション力・プレゼンテーション力の育成」に相当する科目である。</p> <p>技術者教育プログラムとの関連：本科目が主体とする学習・教育到達目標は「(B)地球の視野に立った人間性の育成」「B-2:地球上の多様な歴史観・文化・習慣の違いを理解し、説明できること」である。</p> <p>授業の概要：日本列島をのぞく世界の歴史を中心に、日本列島との関係にも言及しながら概観する。膨大な学習対象の量に比して、時間数は限られているため、時間・空間ともに適宜抽出した内容を扱うことになるが、本講義は比較史的視角をつねに意識しながらすすめられる。</p>				
Style	<p>授業の方法：通史的解説によって授業を進めるが、日本列島をのぞく諸地域の歴史という生活上の実感をもちにくい学習内容の性質上、映像資料をできるだけ用いる。年に数回、小課題への取り組みを求める。また、講義内容は受講者の状況などを参照しつつ柔軟に設定する。</p> <p>成績評価方法： 最低4回、取り組みを求めるレポートによっておこなう。歴史教育における成績評価方法の問題は、それ自体をひとつのテーマとして講義中でとりあげる。</p>				
Notice	<p>履修上の注意：カリキュラムにおいて設定されている時間数に比するならば、学習内容は膨大である。授業において、すべてを網羅することは不可能なので、図書館の利用などによる主体的学習が望まれる。本科目は学年の課程修了のために履修（欠課時間数が所定授業時間数の3分の1以下）が必要である。</p> <p>履修のアドバイス：積極性をもって講義に関わることが肝要である。事前に行う準備学習はとくに必要ない。</p> <p>基礎科目：なし 関連科目：政治経済（全系2年）、日本史（全系2）、異文化社会論（全系4）、日本社会論（全系4） 受講上のアドバイス：受動的態度による受講では学習に喜びを見いだすことは困難である。積極的に学習する意欲をもってはじめて学習成果は教養となることを銘記されたい。遅刻（開始時間におくれること）については受講者の自覚を求め、特段のペナルティはあたえない。</p>				
Characteristics of Class / Division in Learning					
<input checked="" type="checkbox"/> Active Learning		<input checked="" type="checkbox"/> Aided by ICT		<input checked="" type="checkbox"/> Applicable to Remote Class	
<input type="checkbox"/> Instructor Professionally Experienced					
必修					
Course Plan					
			Theme	Goals	
1st Semester	1st Quarter	1st	ガイダンス1, 概説		
		2nd	歴史学とはなにか(1)	歴史とは何かについて理論的に把握すること。	
		3rd	歴史学とはなにか(2)	歴史とは何かについて理論的に把握すること。	
		4th	歴史学とはなにか(3)	歴史とは何かについて理論的に把握すること。	
		5th	歴史学とはなにか(4)	歴史とは何かについて理論的に把握すること。	
		6th	人類史の最初期段階	当該分野における基礎知識を獲得すること。	
		7th	(前期中間試験)		
		8th	オリент世界と地中海世界の形成	当該分野における基礎知識を獲得すること。	
	2nd Quarter	9th	南アジア世界の形成	当該分野における基礎知識を獲得すること。	
		10th	東南アジア世界の形成	当該分野における基礎知識を獲得すること。	
		11th	中央ユーラシア世界の形成と展開	当該分野における基礎知識を獲得すること。	
		12th	東アジア世界の変動と再編	当該分野における基礎知識を獲得すること。	

2nd Semester		13th	イスラーム世界の形成と拡大	当該分野における基礎知識を獲得すること。
		14th	ヨーロッパ世界の形成	当該分野における基礎知識を獲得すること。
		15th	(前期末試験)	
		16th	ユーラシア大帝国の出現	当該分野における基礎知識を獲得すること。
	3rd Quarter	1st	アジア諸地域の栄華と成熟	当該分野における基礎知識を獲得すること。
		2nd	世界をめぐる銀	当該分野における基礎知識を獲得すること。
		3rd	琉球・アイヌからみた世界史	当該分野における基礎知識を獲得すること。
		4th	大規模な分業体制の成立	当該分野における基礎知識を獲得すること。
		5th	西ヨーロッパの覇権争いと世界的な分業体制の拡大	当該分野における基礎知識を獲得すること。
		6th	環大西洋革命／工業文明と国民国家の誕生	当該分野における基礎知識を獲得すること。
		7th	近代諸革命の意味	当該分野における基礎知識を獲得すること。
		8th	(後期中間試験)	
	4th Quarter	9th	イギリスの覇権と欧米の国民国家建設	当該分野における基礎知識を獲得すること。
		10th	世界の一体化の進展とアジアの変容	当該分野における基礎知識を獲得すること。
		11th	世界の一体化の完成とその影響	当該分野における基礎知識を獲得すること。
		12th	世界大戦の時代	当該分野における基礎知識を獲得すること。
13th		東西冷戦から多極的国际社会へ	当該分野における基礎知識を獲得すること。	
14th		相互依存を深める世界	当該分野における基礎知識を獲得すること。	
15th		(後期末試験)		
16th		アメリカの覇権と盛衰	当該分野における基礎知識を獲得すること。	

#### Evaluation Method and Weight (%)

	試験	発表	相互評価	自己評価	課題	小テスト	Total
Subtotal	0	0	0	0	100	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	100	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0